

# 誠實自然

令和6年5月10日

## <校庭の芝生>

台北らしい太陽の日差しが眩しく感じるようになり、日除けやサングラス、日焼け止めが必要な季節になってきました。と同時に校庭の芝生の成長にもよい季節となりました。

3月春休みに入って、校庭のフィールド内の芝生の植え付け工事を行いました。2022年4月から校舎・校庭の完全使用が始まり、校庭の芝生の場所については使用・利用が続いて、少しずつ芝生がはがれていく場所が広がっていきました。夏祭りのステージ、スポーツフェスティバルでの競技などにより少しずつダメージが積み重なって、芝生のグリーン色よりも土の色が目立つようになり、新たに芝生を植えることにしました。

**芝生は植物、生き物です。**大事に大事に大切に大切に育てていくことで、元気に強く育ちます。そこで、2～3か月程度の期間、芝生が根を張り、草が伸びる間は、じーっと見守ることにし、使用できない期間としました。

児童生徒の皆さんには、校庭のフィールドの芝生の上を思いっきり動き回ってもらいたいのですが、芝生が育つ時間は使わずに見守ってもらっています。ありがとうございます。

芝生が育つには、土の栄養と水と太陽の光と温度が必要です。土の栄養には肥料を蒔き、エアレーションといって土の中に酸素を送る作業をしました。気温も高くなり、雨も降ったり、何よりも太陽の日差しが今は芝生の成長にとって一番よい季節です。順調に成長してきています。自然の恵みもとても良いです。

芝生は、一度踏み抑えられてしまうと、成長が止まってしまいます。でも、また、大事に大切に見守る時間をつくれば、育ちます。根っこが大丈夫ならば、そーっとしておいてあげればまた葉っぱは生き返ります。

あと少し、丈夫な根っこになるように見守っていきましょう！

そうは言ってもずーっと大事にばかりしていて児童生徒の皆さんが使えないのもおかしいことなので、業者さんとも相談して、6月3日から使えるように準備をしています。自然の恵みがよい条件が続いて順調に芝生が育っていけばとの条件はありますが、みんなで見守り使えるのを待ちましょう！

そうすればきっと、緑緑したふかふかの芝生の上で遊べると思っています。

台北日本人学校の校庭の芝生が、ずーっと元気に育ち続けるように、芝生の上を歩くことをしないで休ませてあげることも時には必要で、台北日本人学校のみんなは、芝生の命を大切にできる人たちです。